

予算決算常任委員長報告

令和4年9月28日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案15件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る9月13日から26日まで委員会を開催し、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

また、22日には総務・教育民生・産業建設の各分科会を開催し、全体会の中で分科会での自由討議が必要と意見が出された事業について、議員間における自由討議を行いました。

26日の委員会では、各分科会から主査報告が行われ、全体で自由討議を行い意見集約しました。

議案第75号「令和3年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」外議案8件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり認定してよいものと決しました。

議案第84号「令和4年度三次市一般会計補正予算（第6号）（案）」外議案5件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

主査報告及び自由討議から集約した意見を申し上げます。

総務分科会からは、みよし暮らし推進事業などについて、令和3年度から、移住、定住促進に係る補助金の見直しが行われているが、その効果について、以前の支援策と費用対効果も含め、検証する必要があるのではないか。「空き家」「耕作放棄地」「後継者不足」など、本市の課題を逆手に取った農を中心としたライフスタイルの提案、本市の伝統工芸・文化の継承も含んだ地域資源・資産の利活用など一部のターゲットに的を絞った支援メニューの構築、荒れた山や耕作されていない農地といった、マイナスイメージと思える資産を空き家バンク制度のように、全国の興味ある方に紹介する窓口の創設など、対象者にピンポイントで伝える新たな企画立案を期待するとの意見が報告されました。

教育民生分科会からは、三次版学校ICT活用事業について、教師の習熟度の向上、平準化に向けた対応を求める意見や、ICT支援員と教育委員会との連携

をより強化することで、更に効果的なICTの活用が図られ、子どもに力をつけていくことが期待できるのではないかという意見が報告されました。

全体会での自由討議では、教師の習熟度を上げることが目的ではなく、教育効果に着目したICTの活用が大切であるとの意見、今後は機器の修繕や更新等経費が増大することが見込まれるので、より効率的な運用と経費の低減が必要であるとの意見、ICTのコロナ禍にあっての活用、休んでいる子ども、支援が必要な子どもに対する運用等についての整理が必要であるとの意見が出されました。

今後は更に事業効果や課題の検証を進め、ICT活用の今後の事業展開に繋がられることを期待するものであります。

産業建設分科会からは、農地等保全事業有害鳥獣対策については、有害鳥獣被害専門の部署を立ち上げるなど、前向きな駆除や処理の体制づくりが必要ではないかとの意見、（仮称）みよしアグリパーク整備事業については、今後の事業スケジュールの明確化を求める意見が報告されました。

全体会での自由討議では、有害鳥獣対策は、バッファゾーンの設定等森林整備についての認識が、根本的な対策として必要であるとの意見が出されました。

被害の実態は切実で、有害鳥獣対策には、即効性、実効性が求められていることから、あらゆる施策について積極的な事業展開が必要であると思われます。

また、（仮称）アグリパーク整備事業は、アグリパーク構想全体について、見直しの内容を含め、説明、周知を求めるものであります。

次に、議案第84号「令和4年度三次市一般会計補正予算（第6号）（案）」については、みよし運動公園陸上競技場改修事業は、大会の誘致等積極的な活用が図られるよう、根本的な改修についても検討されたい。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。